

# 校長室から

□校長あいさつ□

江北町立江北中学校  
校長 谷口 一宏

## 【学校教育目標】

### 自ら学び心豊かにたくましく生きる生徒の育成

江北中学校のホームページをご覧ください、ありがとうございます。

本校は、佐賀県のほぼ中央に位置し、JR長崎本線・佐世保線の分岐点であり特急列車の停車駅である江北駅を有し、国道34号・207号の分岐点でもある交通の『へその町』でもあります。本校は、昭和22年の開校以来77年目を迎えました。これまでに14,295名の卒業生を送り出した歴史と伝統のある中学校です。令和元年度からコミュニティ・スクールが導入され、地域とともにある学校づくりを推進していく体制づくりに取り組んでいます。また、令和10年4月開校予定の義務教育学校に向け、町内一小一中のよさを生かし、義務教育9年間で知・徳・体のバランスのとれた児童生徒を育成していけるよう目標を共有しながら実践を工夫しています。同時に、めざす生徒像も小学校からの継続性を大切にしながら共有化を図っています。

【めざす学校像】	【めざす生徒像】	【めざす教師像】
○ともに切磋琢磨し、成長していく学校 ○ともに支え合い、安心して生活できる学校 ○地域に信頼される学校	○自ら学び考え行動する生徒 ○他人を思いやる生徒 ○粘り強く挑戦する生徒	○子どもの成長を支える愛情豊かな教師 ○使命感にあふれ、学び続ける教師 ○組織で取り組み、心身ともに健康な教師

『居場所のある学校』『共に学び、助け合い、磨き合う仲間がいる学校』『成長を支える教師がいる学校』をめざし、自分をより高く「変革」してくれるよう教育活動を行っています。

本校は、平成29、30年度の「新学習指導要領（国語）」の研究指定、令和元、2年度は文部科学省及び県教委の「道徳教育の抜本改善・充実に係る支援事業」として研究指定を受け、小中連携や地域との連携を通しての道徳教育の実践研究に取り組みました。本年度はこれまで積み上げた道徳教育の研究の結果を活かしながら、昨年度より取り組んでいるユニバーサルデザインを取り入れた「学習環境づくり・授業づくり」を工夫して生徒の学力向上に取り組んでいきます。

また、江北町は昭和51年に「スポーツの町」宣言をしていることもあり、中学校でも部活動に積極的に取り組んでいます。ほとんどの運動部活動には、町内外の有志の方がコーチとして関わっておられます。いわば、地域ぐるみで子育てをする体制に支えられ、本校では教育活動を行うことができ、たいへんありがたく思っています。

今後も保護者や地域の方々と連携し、心身共に健康で調和のとれた人間性豊かな生徒の育成をめざし、教育活動に取り組んでまいります。保護者、地域、関係機関の皆様方におかれましては、これまでも増してご理解とご支援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。